

別紙

温室効果ガス排出削減計画

| | | | | | |
|------------|--|-----------------------------|----------|---|--|
| 氏名 | (法人にあつては名称) 学校法人 川崎学園 | | 住所 | (法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒701-0192 岡山県倉敷市松島577 | |
| 本票作成 | 部署名：学校法人川崎学園 大学事務局施設部 | | | | |
| 主たる業種 | 分類コード | 81 | 業種名：学校教育 | | |
| 事業の概要 | 川崎医科大学、川崎医科大学附属病院、川崎医療福祉大学、川崎医療短期大学、川崎医科大学附属高等学校、川崎医科大学総合医療センター、かわさきこども園 を有する学校法人 | | | | |
| 県内の主な工場等 | 番号 | 工場等の名称 | | 所在地 | |
| | ① | 川崎学園（総合医療センター、附属高校、こども園を除く） | | 岡山県倉敷市松島577 | |
| | ② | 川崎医科大学総合医療センター | | 岡山県岡山市北区中山下2-6-1 | |
| | ③ | 川崎医科大学附属高等学校 | | 岡山県倉敷市生坂1661 | |
| | ④ | かわさきこども園 | | 岡山県倉敷市二子177-7 | |
| | ⑤ | 川崎医療短期大学 | | 岡山県岡山市北区中山下2丁目1番70号 | |
| 特定事業者の該当要件 | <input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 5 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台) | | | | |

| | | | | | | | | | |
|----------------|----------------------------|---|-------|--------------------------|-------|--------|--------|-------|------|
| 計画期間 | 令和 2 年度 ~ 令和 4 年度 (3 箇年度) | | | | | | | | |
| 削減目標 | いずれかを選択 | <input type="checkbox"/> 総排出量基準 | 目標削減率 | 目標区分 | 20%以上 | 20~15% | 15~10% | 10~5% | 5%未満 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準 | 3.0 % | | | | | | ○ |
| 温室効果ガス排出量 | 基準年度 (令和 1 年度) | | | 目標年度 (令和 4 年度) | | | | | |
| | 38,094 t CO ₂ | | | 36,951 t CO ₂ | | | | | |
| 基準年度の主な工場等の排出量 | 番号 | 工場等の名称 | | 基準年度 (令和 1 年度) の排出量 | | | | | |
| | ① | 川崎学園 (総合医療センター、附属高校、こども園を除く) | | 31,333 t CO ₂ | | | | | |
| | ② | 川崎医科大学総合医療センター | | 6,313 t CO ₂ | | | | | |
| | ③ | 川崎医科大学附属高等学校 | | 395 t CO ₂ | | | | | |
| | ④ | かわさきこども園 | | 53 t CO ₂ | | | | | |
| | ⑤ | 川崎医療短期大学 | | t CO ₂ | | | | | |

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

| | | | | |
|------------------------|-------------------------|--|------------------------------------|------------------------------------|
| (原単位基準の削減目標を選択した場合に記入) | 温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 | | 原単位当たり排出量 | |
| | 延床面積 389.0 千㎡ | | 基準年度 | 目標年度 |
| | | | 97.9 t CO ₂ / (千㎡) | 95.0 t CO ₂ / (千㎡) |

(該当事業者のみ記入)

| | | | | |
|--------|---------|----------|----------------|---------|
| ベンチマーク | 対象事業の名称 | ベンチマーク指標 | 関連数値 (令和 1 年度) | 達成率 (%) |
| 指標の状況 | 大学 | 0.555 以下 | 0.8412 | 66.0% |

【目標削減率設定の基本的な考え方】

本学園では、温室効果ガス排出の元となるエネルギー使用量の削減目標を年1%としており、これを達成することにより温室効果ガス排出量を削減する。原単位基準を採用した理由は、病院等は状況により稼働する病床面積が変動し、又建物の耐震補強工事により床面積が変動することが予想され、これを補正するためである。2022年(令和4)には「川崎医科大学高齢者医療センター」「川崎医療短期大学新校舎棟」を建設し、「川崎学園岡山キャンパス」としての整備計画があるため今後のエネルギー使用量の予測が見通せないこともあり、計画期間を3箇年に設定した。

【目標削減率達成のための推進体制】

学園内に「地球温暖化対策推進委員会」を設置している。大学事務局を委員会事務局とし、各施設の代表者を委員として選任したものである。委員会は年2回開催され、年度活動計画及び実施結果を報告している。また、学園の施設・設備の維持管理を担当している施設課においては、各施設の担当者による定例会を毎月開催して、省エネ活動等の情報交換、効率的な設備稼働を検討・実施している

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

| 工場等の名称 | 取組内容 |
|--------|--|
| 川崎学園全体 | 1 照明器具：水銀灯・誘導灯器具・蛍光灯等をLEDへ更新、ほか高効率管・球・LEDへ交換 2 空調設備：Vベルトを省エネベルトへ更新、フィルターの定期清掃・交換、パッケージエアコンの更新(高効率インバータイプへ)、ビル用マルチエアコンに更新 3 給湯設備：エコキュート、ヒートポンプ給湯器導入 4 昇降機：エレベータを高効率インバータイプへ更新(本館棟・博物館)、附属高校エレベータ1台撤去、医科大学男子寮エレベータ1台撤去、短期大学敷地内学生寮エレベータ2台撤去 5 設備機器：高効率機器の導入・更新(高効率変圧器へ更新:附属高校男女子寮4台、医大女子寮2台、医大男子寮6台) 6 熱源機器：本館棟ターボ冷凍機(1台)更新、蒸気配管放熱ロス対策の実施、ボイラの省エネ改造(1台)、貫流式ボイラの水管内スケール除去、冷温水2次ポンプ吐出圧力変更による損失低減 7 その他：自動販売機を省エネ型へ更新、複合機を導入しOA機器を集約する |

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

| 工場等の名称 | 措置内容 |
|--------|--|
| 川崎学園全体 | <ul style="list-style-type: none"> 天井蛍光灯(直管40形)の安定器不良時は順次LEDに更新する 自動販売機を省エネ型へ順次更新する 給気、排気ファンの運転時間の短縮と温度センサーを取付け運転制御する 校舎棟、新校舎棟、北館棟、救急棟、本館A・B棟の天井蛍光灯(直管40形)を順次LEDに更新する 照明器具(避難誘導灯含)の高効率管・球・LED機器への随時更新 職員寮(二子B棟)、学生寮(すずかけ寮)の減階工事に伴いエネルギーを消費する設備等(エレベータ他)の撤去 |

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

| | |
|--------|---|
| 県内での取組 | 無 |
| その他 | 無 |

【再生可能エネルギーの導入計画】

| | | |
|--------|---|---|
| 県内での取組 | 有 | 太陽光発電設備設置済み(H25年度・川崎医療短期大学) 6kW 太陽光発電設備設置済み(H29年度・かわさきこども園) 20kW |
| その他 | 無 | |

【その他特記事項】

その他の取組

- 空調設定温度の厳守、照明点灯・空調運転時間の短縮とスケジュール制御時間の見直し
- 各施設での省エネパトロールの実施、学生も参加させ、女性目線でのきめ細かな指摘と改善
- 学園広報誌及び学園HPへの啓蒙記事・省エネ実施事例の掲載により省エネ意識を高める
- 新入生への省エネ教育の実施
- 大学・寮の長期休暇中、エレベータの間引き運転の実施及び自動販売機の休止
- パソコン・OA機器の省エネモード設定と退社時電源OFF
- 照明ゾーニング・人感センサー等の取り付け工事による不要点灯の削減
- アースキーパーメンバー及びライトダウンキャンペーンに参加
- 令和4年度から川崎短期大学が追加(校舎が移設のため)